

東京都台東区身体障害者生活ホームフロム千束における 指定管理者の指定の経緯

1. 経緯

令和元年 9月 4日 第1回審査会（現地視察及び審査基準の決定）
 令和元年 9月11日 第2回審査会（書類審査及び選定）
 令和元年11月 8日 指定管理者候補者の選定
 令和元年12月19日 第4回区議会定例会において指定の議決
 令和2年 1月 8日 指定管理者として指定

2. 選定方法

指定管理者の選定にあたっては、外部有識者と区職員による指定管理者審査会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について審査をした。区は、審査会の審査結果を参考に区議会の議決を経て指定管理者を指定した。

3. 選定委員会構成員

	氏名	役職等
委員長	赤塚 光子	元立教大学教授
委員	角田 淳	中小企業診断士
委員	元田 陽子	台東区民生委員・児童委員協議会 障害福祉部会委員
委員	福田 健一	企画財政部経営改革担当課長

4. 審査基準

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
①区の求める管理水準の確保	施設の設置目的に合致した管理運営	施設の管理運営に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
		地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
	施設の維持管理計画	具体的な維持管理計画となっているか。安全、快適等が念頭に置かれているか。
	区民の平等利用の確保	公の施設としての役割を踏まえ、区民の平等利用に留意されているか。
	人員の配置計画	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
		施設の管理運営にあたる人員が合理的に配置されているか。
		有資格者などの配置は適切か。
		労働法令の遵守や、雇用・労働条件への適切な配慮がなされているか。

基本項目	細目（審査内容）	審査の視点
②サービス向上への取組み	利用者に対するサービスの向上	利用者の要望・意見・苦情等を把握し、改善に結びつける方策がとられているか。
		利用者のために有益な情報提供を適時かつ十分に行えるよう考えられているか。
		定期的に評価し、改善に結びつける方策がとられているか。
	自主事業	自主事業の内容が、施設の設置目的に合致しており、かつ利用者にとって魅力的なものとなっているか。
	管理・運営についての提案	施設の現状を正しく認識し、今後の施設のあり方について具体的かつ適切な提案があるか。
施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。		
③運営効率化への取組み	管理経費の効率化	効率的な運営を行うための実施可能な提案があるか。
		効率的な管理運営のための創意工夫が見られるか。
④危機管理・安全確保の取組み	緊急時対策・防災対策	緊急時の対応を適切に行うための対策が講じられているか。
	個人情報の管理	個人情報の管理体制は適切か。
⑤職員育成の取組み	職員の研修計画	職員の専門的知識・技能を向上させる職員研修計画となっているか。
⑥その他施設固有の性質等による項目	地域福祉への貢献	提案事業が地域福祉の貢献となっているか。

5. 審査結果

(1) 得点

審査項目		配点	指定管理者候補者
書類審査	① 区の求める管理水準の確保	60点	51点
	② サービス向上への取組み	75点	69点
	③ 運営効率化への取組み	15点	12点
	④ 危機管理・安全確保の取組み	30点	26点
	⑤ 職員育成の取組み	15点	13点
	⑥ その他施設固有の性質等による項目	30点	26点
合計		225点	197点
得点率%【合格基準70%以上】			87.6%

(2) 指定管理者候補者の主な提案内容

- ・利用者の高齢化に対応し、医療機関との連携の強化を図りながら、よりよい支援の見直しに取り組む。
- ・支援員の介助技術の向上や福祉機器等の積極的な導入を図る。

- ・介護保険研修受講や成年後見制度利用の推進などの利用者の将来に向けた支援に取り組む。
- ・自立生活体験事業の利用者一人ひとりの目標と支援内容を明確化し、きめ細かな利用期間の設定を検討する。

(3) 審査会における主な意見

- ・自立生活体験事業については、人員体制の問題から利用希望者を受け入れきれないという課題はあるものの、サービス向上への取組みは高く評価できる。
- ・非常時の避難体制については、地域の力を借りるなどの検討も必要であるが、防災避難訓練も行っており、基準は満たしている。
- ・普段から職員が利用者のために非常にきめ細かく対応している様子は確認されており、職員一人ひとりが熱心に職務を遂行している。